

2021年度 地区サポーター紹介

困ったときはお互い様！
支援の輪を広げていきましょう♪

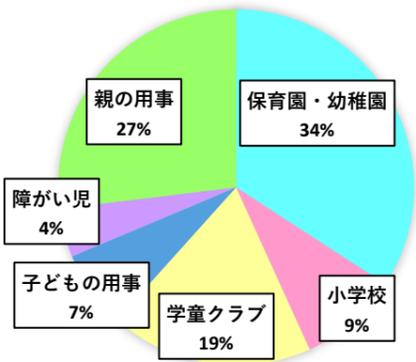


小川寛美さん 青木洋子さん 中村美緒さん 榎部浅子さん
(二中・四中) (一中・大坂上中)
河野瑤子さん 佐野村智恵さん 高橋嘉子さん 小清水真理子さん
(三沢中・三中) (七生中・平山中)

私たちは地区サポーターです。
どんなことでも遠慮なく声を掛けて相談してください。
また、事前打合せや会員交流会、ミニ交流会、保育講習会などのアドバイザーの補助もしています。皆さんのファミサポ活動が有意義なものになります様に、地区サポーター全員で頑張っています。

2020年度の活動状況

保育援助活動の内訳



会員種別人数 (2021年7月31日現在)	
依頼会員	6,543名
提供会員	659名
両方会員	191名
合計	7,393名

保育援助・事前打ち合わせ件数	243件
保育活動総数	3,328件
家事・妊産婦・高齢者援助・事前打ち合わせ件数	63件
家事活動総数	1,741件

ファミサポからのお願い

☆登録内容が変わったらお知らせください

会員の皆様の登録は自動的に継続されています。
登録内容が変更になった方は、ファミサポたまだいら事務局までご連絡ください。(☎ 042-589-7616)
※なお、退会をご希望の方もお知らせください。
一度退会されてもいつでも再入会できます。

提供会員さんへ

活動報告書は必ず翌月5日までにご提出ください。

依頼会員さんへ

活動が終了したら提供会員さんとファミサポたまだいらへご連絡ください。

ホームページをリニューアルしました!

新しくなりましたので、ぜひご覧ください!
https://angel-hino.com/family_support/famisapo.html



ファミサポメールに登録をお願いします

☆メールの利用について
会員の皆様へのお知らせなどの連絡手段として、メールを使用しています。
ぜひ、皆様のアドレスの登録をお願いいたします。

<登録方法>
会員氏名、電話番号、お使いのメールアドレスを下記アドレス宛に送信してください。
cschfamisapo@gmail.com
※アドレスはQRコードからも読み取れます。



- ★引き続き感染対策(検温、マスク着用、手指消毒)を行って頂き、安全に活動していきましょう。
- ★活動に不安なことなどありましたら、アドバイザーにご相談ください。

アドバイザー紹介



白神孝代 田島香苗 松埜紀子 古澤翼
岡部ほなみ 土屋和子 増井乙女 室園理香子

ファミサポたまだいら ☎ 042-589-7616



松埜紀子 室園理香子 城山ヒデミ 古澤翼
岡部ほなみ 増井乙女 土屋和子 白神孝代

ファミサポたかはた ☎ 042-599-7616

日野市

ファミリーサポート通信

第30号
2021年10月

発行 日野市ファミリー・サポート・センター
受託 NPO法人 市民サポートセンター日野
〒191-0062
日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館2F
TEL & FAX 042-589-7616
URL: <http://www.angel-hino.com/famisapo/famisapo.html>

ファミサポ養成講座・会員交流会 2021年12月3日(金)

主催：日野市ファミリー・サポート・センター、地区サポーター実行委員会
場所：多摩平の森ふれあい館 3階 集会室6

第1部 養成講座 13:00~15:00

やってみよう「骨盤体操」 13:10~14:10

腰痛・膝痛がある、自分の骨盤の状態を知りたい

講師 藤田ももこ氏(骨盤研究家・カイロプラクター / このは整体院代表)

★持ち物：ヨガマット 又は大きめのバスタオル、飲み物

ゴミ出前講座「ゴミの分別に迷ったら!」 14:20~15:00

ごみの出し方に不安がある、もっと詳しく聞きたい

講師 ○○○○氏(日野市クリーンセンターごみゼロ推進課)

第2部 会員交流会 15:10~16:30

私たちにできるSDGs「新聞紙エコバック作りパート2」

のりと英字新聞でオシャレなエコバックを作ませんか?

今年はランチサイズを作ってみましょう

交流タイム ★参加費：300円

カフェグリーンのおいしいコーヒーやお菓子を楽しみながら、会員同士で交流しましょう



★申し込み：☎ 042-589-7616 へ 11月19日(金)までにお申し込みください
保育を希望の方はご連絡ください(第1部養成講座のみ)

※新型コロナウイルスの影響で開催内容の変更や中止になることもあります
※感染対策に気を付けて、実施いたします

未来のファミリーサポートに期待すること

日野市長 大坪 冬彦



日野市のファミリーサポート事業は長年にわたりNPO法人市民サポートセンター日野様に支えていただき、市民の相互援助活動として、なくてはならない存在となっております。ファミリーサポート通信の発行も第30号を迎えたとのことで、皆様の地道な活動の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

さて、全国的に児童虐待の件数が急増しております。日野市でも、令和2年度の児童虐待受理件数が378件に対して、令和3年度は6月末時点で152件に上り、このペースが続くと年間600件を超えるのではないかと心配されます。長引くコロナ禍で家庭や子育ての問題を家族で抱え込んでしまっていることが、増加の一因ではないかと考えられます。市としては、こうした状況に対応するために、令和4年度中に(仮称)子ども包括支援センターを設置し、妊娠中から18歳までの全ての子どもの総合支援拠点を設け子育て支援の一層の強化を図ってまいります。一方で、行政の力だけでは足りず、地域に根ざした隣近所の助け合いであるファミサポの活動こそ、こうした社会情勢に対応していくには必要不可欠であり、その意義を再確認する時ではないでしょうか。

日野市ファミリー・サポート・センターは、シェアリングエコノミーの実証実験など、既存の価値観にとらわれず、時代に即した新たな取り組みを積極的に行ってこられました。世の中やライフスタイルが目まぐるしく変化中、日野市の相互援助活動の中核として、先駆者的な役割を今後も果たしていただければと思います。今後の更なる活動の充実と発展を期待しています。

